

コミュニティ・スクールについて

(質問) 市内の全小中学校にコミュニティ・スクールが導入されて11年になるが、①現状と課題、②市が目標としている協働型の実現、この2点についてお聞きしたい。

(答弁) ①目標とする協働型への意識が現状まだ低い。それを踏まえこれからの課題はコロナ禍での取り組みや学校運営協議会の充実などが挙げられる。②学校と家庭、地域住民の方々の参画を得て課題解決に向けた協働型の取り組みを熟議し協働型の実現につなげる。

その他の質問 ○まちづくり協議会の一括交付金



地域共生社会の実現について

(質問) 就労が困難な方へ、相談から就労準備支援、訓練、職業紹介、定着支援までをカバーする寄り添い型で、孤立を防ぐ重層的支援が必要であるが、本市の見解を問う。

(答弁) 今後、相談支援包括化推進員と積極的に連携を図りつつ、ハローワークなどの就労支援機関や地域ボランティアなど多くの関係機関との協働を図り、受け入れ先となる企業の開拓なども進めながら、就労が困難な方への取り組みを推進していく。

その他の質問 ○母子保健事業の拡充
○市の事業における中立性



鈴鹿市の医療について

(質問) 救急搬送数の詳細について伺う。

(答弁) 令和3年中の出動件数が8,907件、搬送人員が8,243人である。傷病程度別では、入院が必要でない軽症が4,538人、3週間未満の入院が必要な中等症が3,063人、3週間以上の入院が必要な重症が486人、搬送後の初診時に死亡が確認されたのが153人。新型コロナウイルス感染症で救急搬送されたのは令和3年で236人、令和4年は2月20日までで71人。新型コロナウイルス感染症と診断された搬送困難者事案は1件あった。

その他の質問 ○がん検診



各委員会での主な議案審査状況、討論、代表質問および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画（YouTube）をご覧いただけます。



議会報告特別号へのご意見をありがとうございました

令和4年2月20日に発行しました市議会だより「議会報告特別号」へのご意見を頂き、ありがとうございました。

委員会の調査研究に対する提言、各委員会での「検証シート」の作成やYouTubeによる本会議や委員会の中継など、市議会における新たな取り組みに対する評価、議会運営に対する要望など、多くのご意見を頂きました。今後の議会活動の参考にさせていただきます。

市議会だより議会報告特別号は、市議会ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

